

## 第 2 章 ■ ■ ■ さまざまな書式（段落）

### STEP 1. 段落について

ワードで出てくる「段落」という言葉は、文字列の先頭から「Enter」キーを押すと出てくる「↵」（段落記号）までのひとかたまりを言います。  
下の文書の場合 6 個の段落があります。

「Enter」キーを押すと出てくる段落記号

段落記号だけの行 も一つの段落です。

あるところに、ラーメン屋さん、三軒並んでおりまして、一番右の主人が『日本一おいしいラーメン』、という看板を出したんですな。↵

すると、一番左の主人が『世界一おいしいラーメン』、という看板を出しまして。↵

さあ、真ん中の主人が困っちゃって、出した看板が↵

『入り口はこちら』↵

## STEP 2. 文書を用意しましょう

あたらしいぶんしょをひらつぎのようにぶんしょをさくせい  
新しい文書を開き次のように文書を作成しましょう。

フォントサイズ：14

よはくせま  
余白：やや狭い

」

ある美術館での会話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」

ある美術館での会話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」

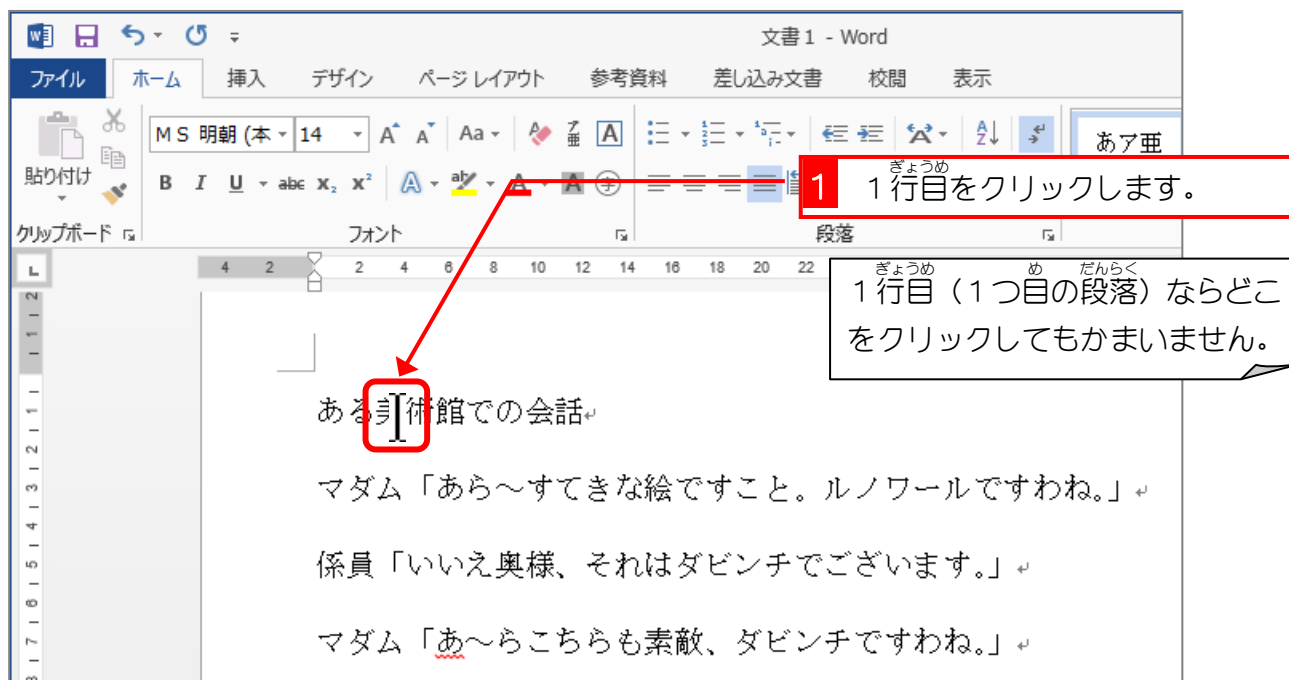
マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」

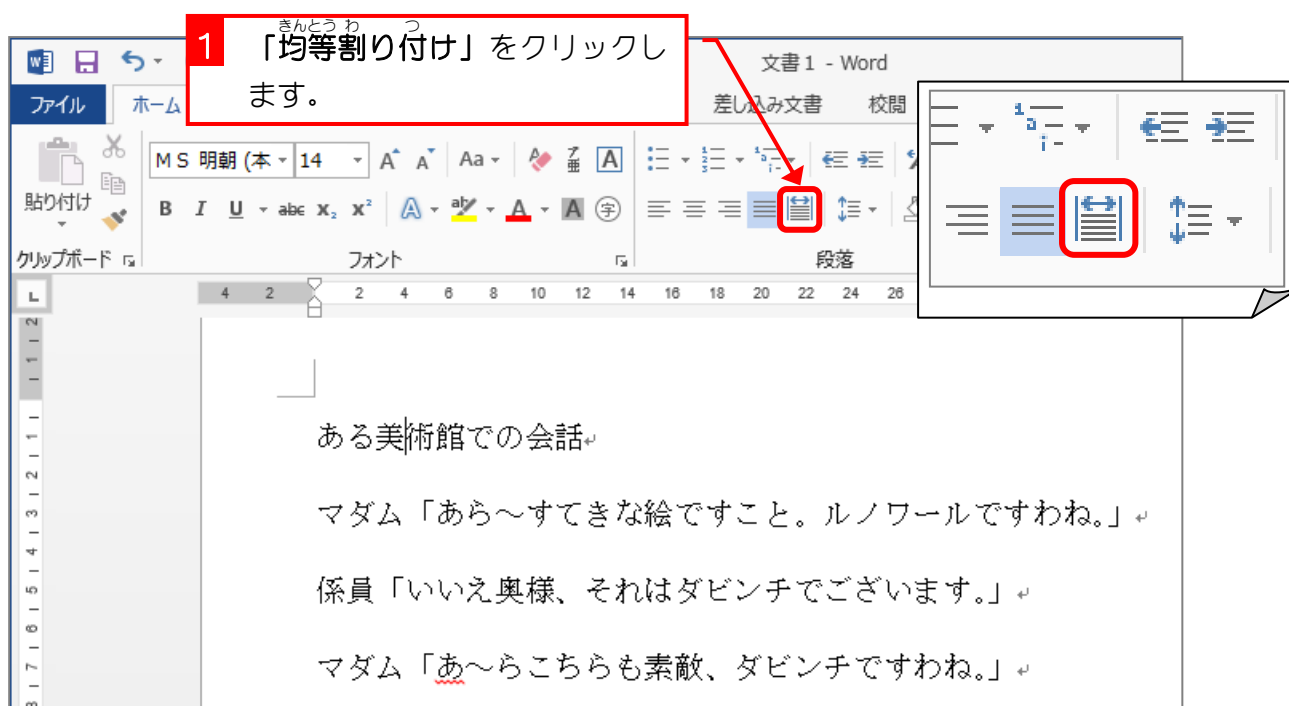
## STEP 3. 段落全体をいっばいに広げる (均等割り付け)

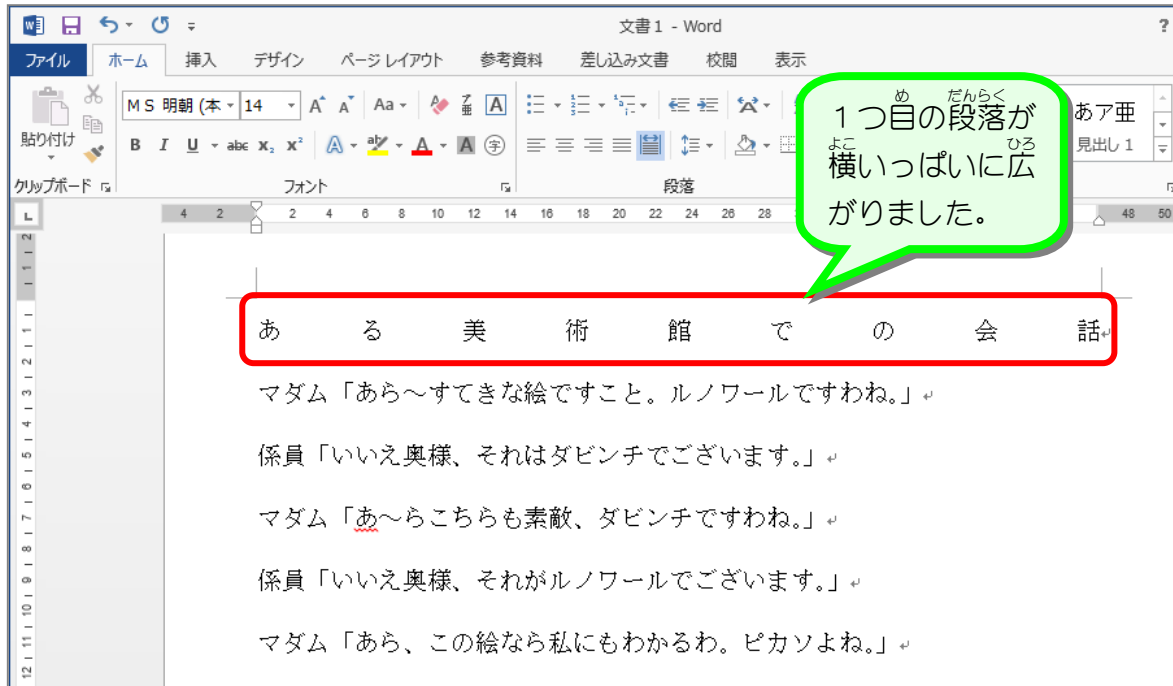
ひとつ目の段落を横いっばいに広げてみましょう。

### 1. ひとつ目の段落を選択しましょう



### 2. 「均等割り付け」で横いっばいに広げましょう





## 練習問題

- 次のように2つ目以降の段落を均等割り付けで横いっぱいに広げましょう。

あ る 美 術 館 で の 会 話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」

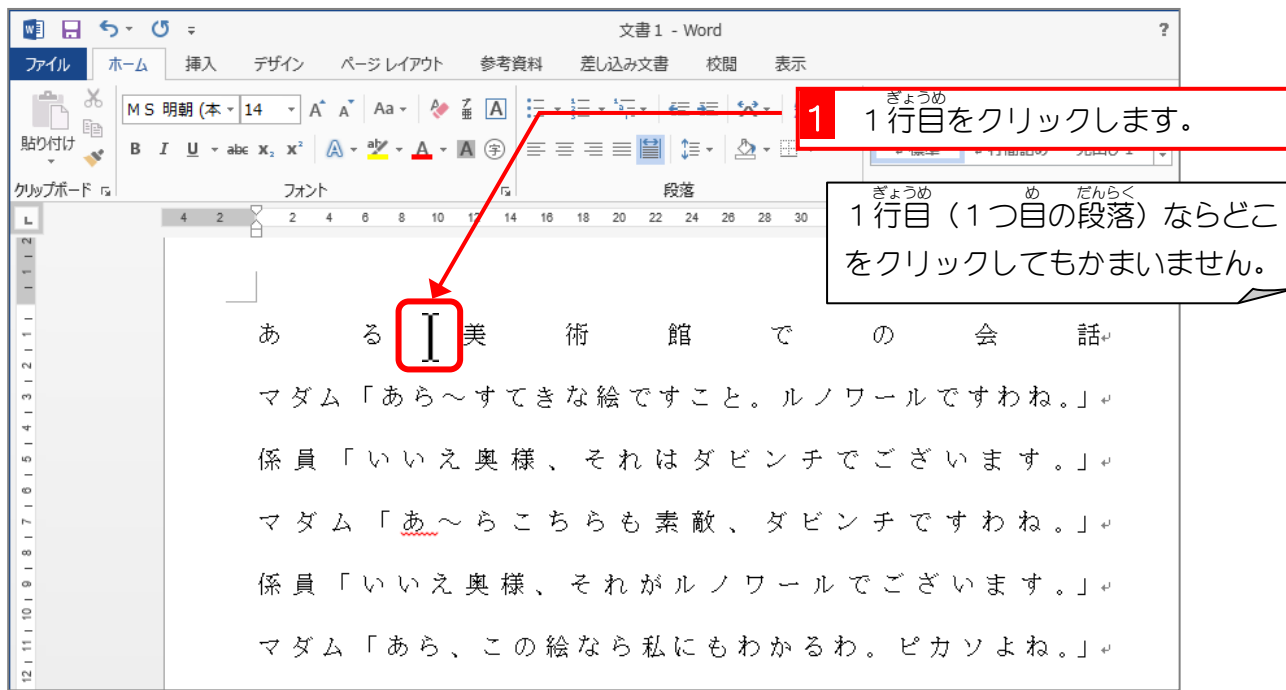
マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」

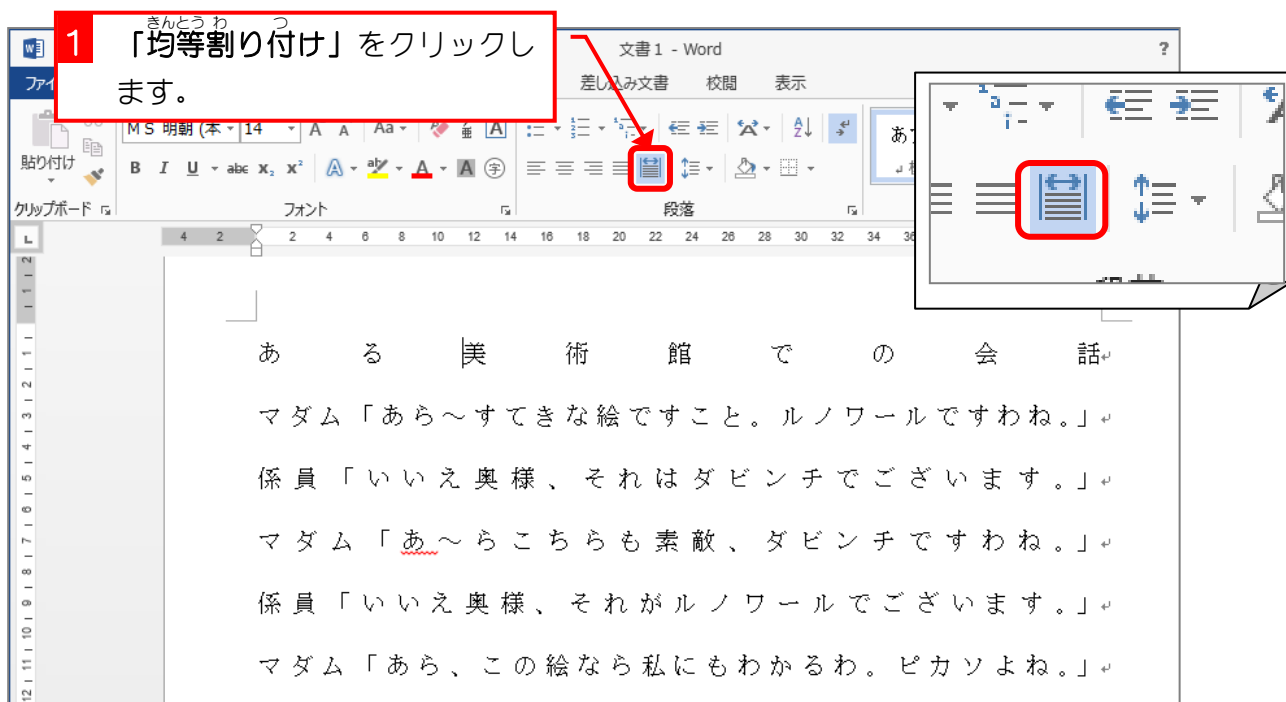
## STEP 4. 均等割り付けを取り消す

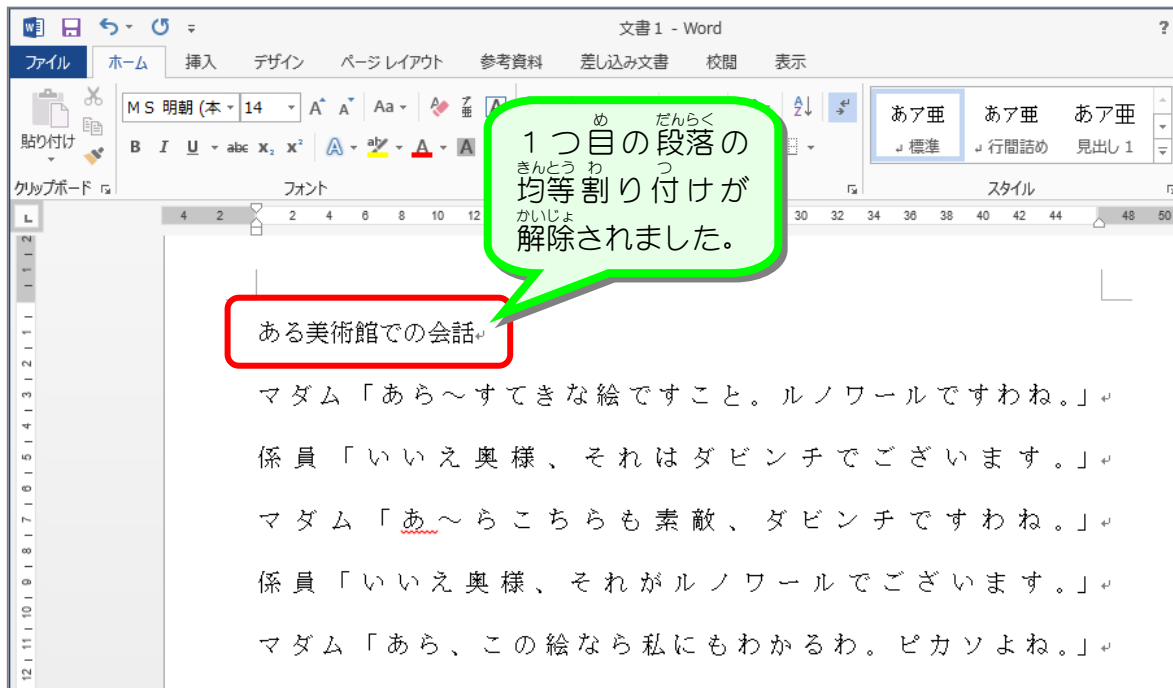
1つ目の段落の均等割り付けを解除しましょう

### 1. 1つ目の段落を選択しましょう



### 2. 均等割り付けを取り消しましょう





## 練習問題

- 次のように2つ目以降の段落の均等割り付けを解除しましょう。

ある美術館での会話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」

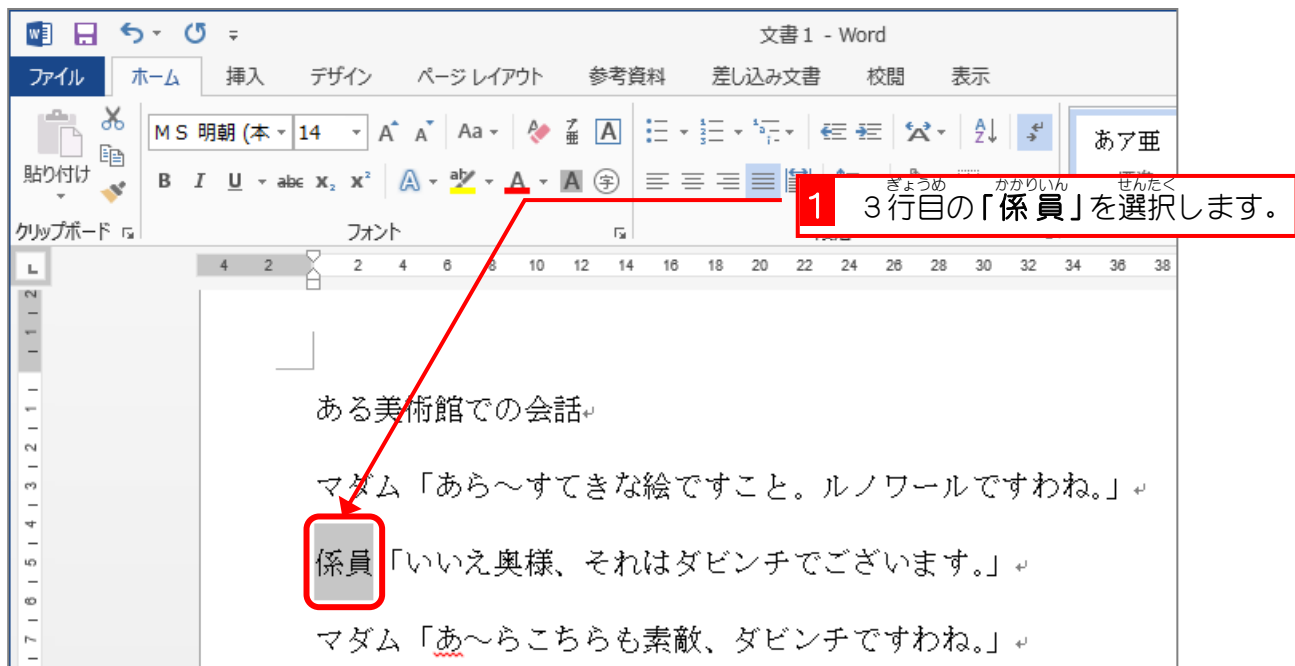
マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」

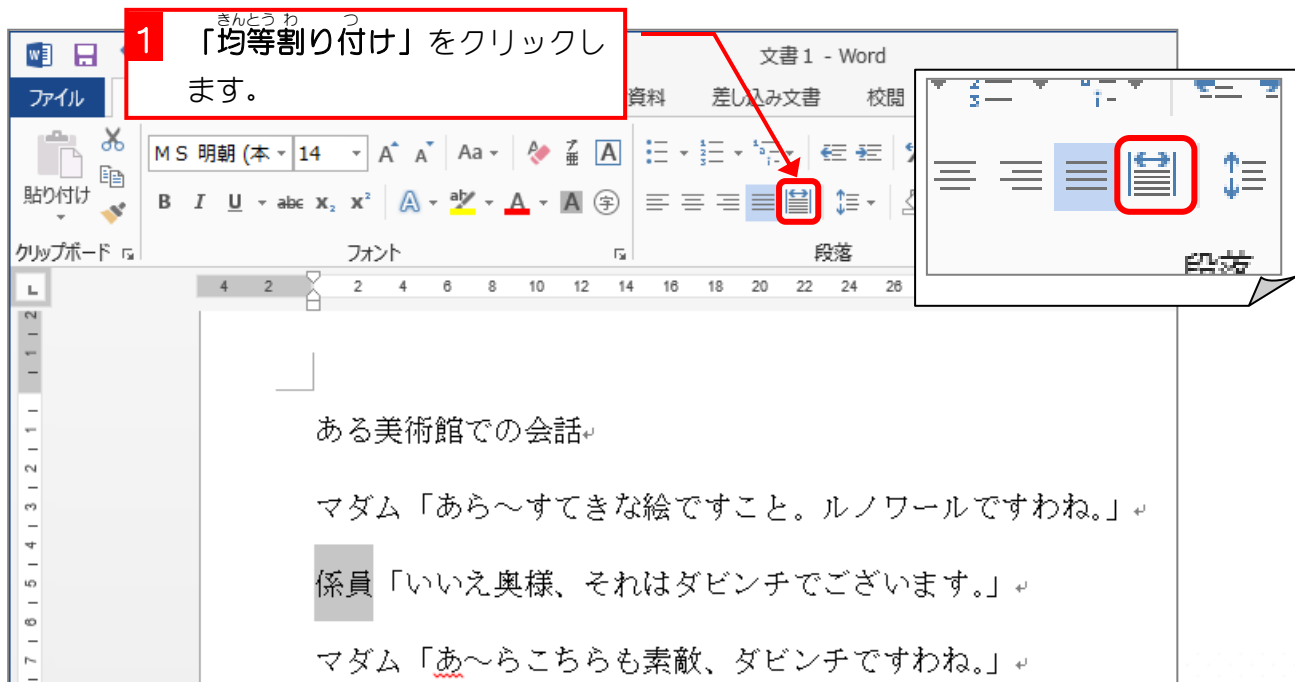
## STEP 5. 文字の間隔を調整する（均等割り付け）

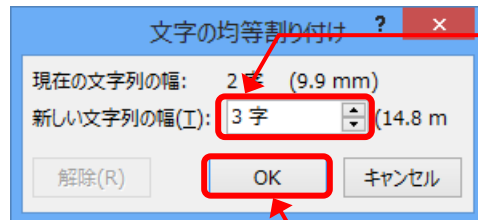
「マダム」の文字数が3文字で「係員」が2文字なので「係員」を3文字分の幅に広げると全体がそろって見やすくなります。「係員」を3文字の幅に広げてみましょう。

### 1. 文字を選択しましょう



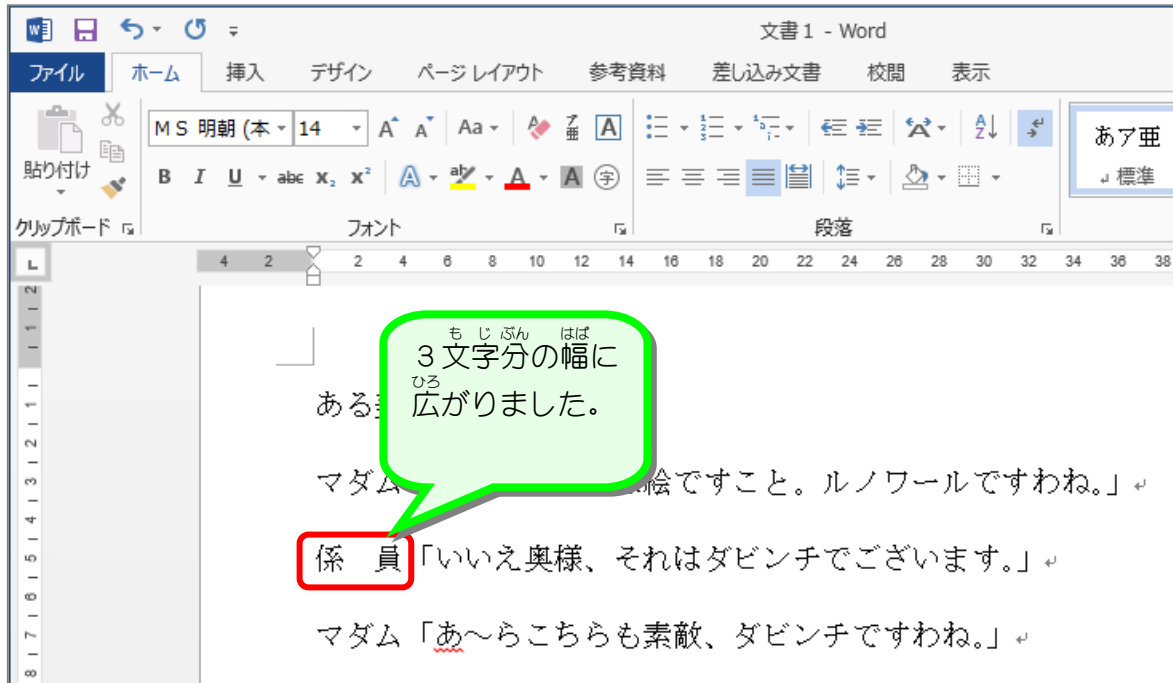
### 2. 文字の間隔を均等割り付けで調整しましょう





2 「新しい文字列の幅」を「3字」に変更します。

3 「OK」をクリックします。



## 練習問題

- 次のように「係員」の文字を3文字の幅で「均等割り付け」をしましょう。

ある美術館での会話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」



## STEP 6. 先頭に記号を付ける (箇条書き)

<sup>かじょうが</sup> 箇条書きで文書を書くときに先頭に記号を付けるとわかりやすくなります。「マダム」と「<sup>かかりいん</sup>係員」の会話<sup>かいわ</sup>を箇条書き<sup>かじょうが</sup>にしてみましよう。

### 1. 文字を選択しましょう

**1** 2行目・3行目の会話の部分を選択します。

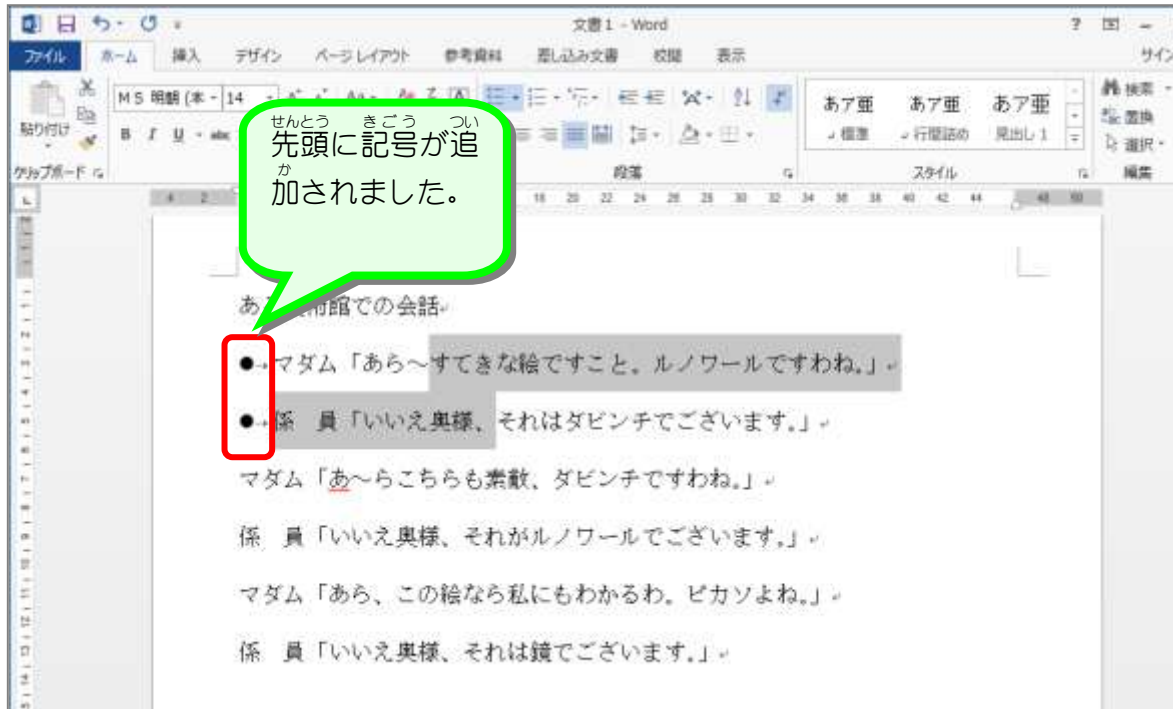
ある美術館での会話  
 マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」  
 係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」  
 マダム「あ～ちこちも素敵、ダビンチですわね。」  
 係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」  
 マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」  
 係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」

2行目・3行目をすべて選択する必要はありません。その行の一部だけでも選択されていけばいいです。

### 2. 先頭に記号を付けましよう

**1** 「箇条書き」をクリックします。

ある美術館での会話  
 マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」  
 係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」



ちが きごう あらわ  
テキストと違う記号が現れるか  
もしれませんが、そのまま構  
いません。

## 練習問題

- つぎ のこ かりいん かいわ かじょうが  
■ 次のように残りの「マダム」と「係員」の会話を箇条書きにしましょう。

ある美術館での会話

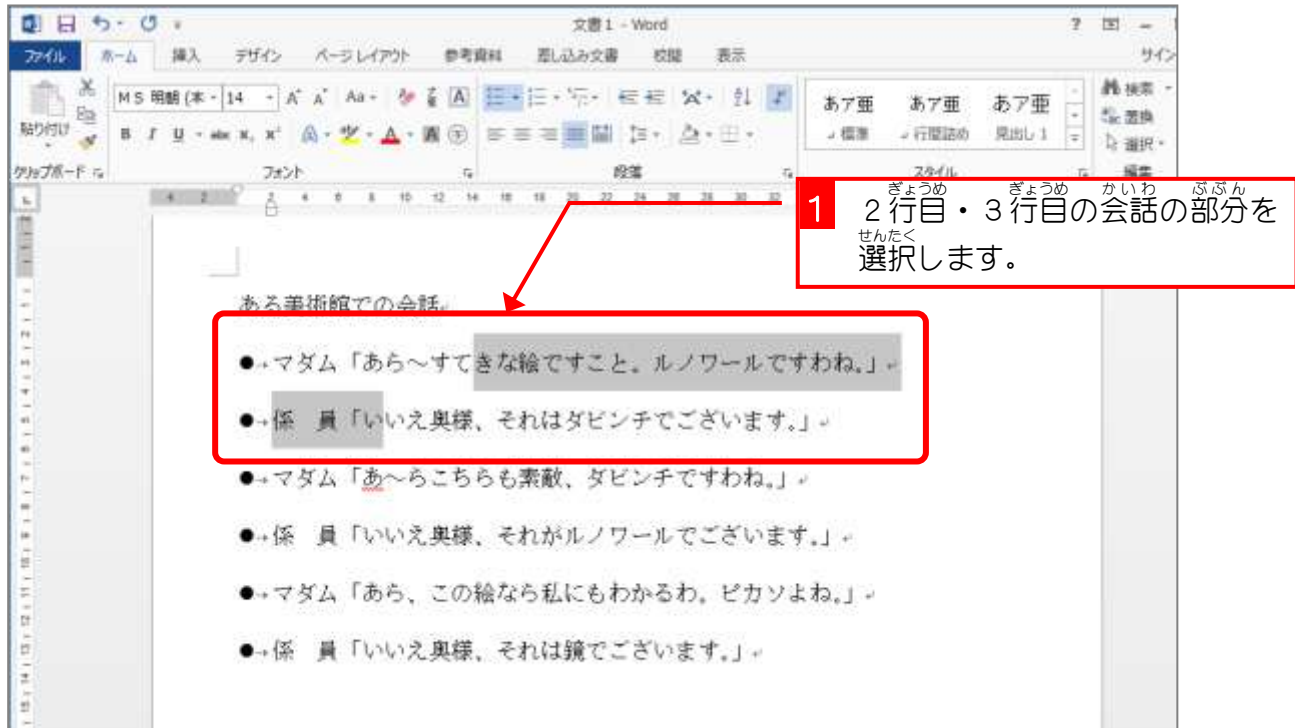
- マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」
- 係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」
- マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」
- 係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」
- マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」
- 係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」

ちが きごう あらわ  
テキストと違う記号が現れるか  
もしれませんが、そのまま構  
いません。

## STEP 7. 先頭の記号を消す（箇条書き）

かじょうが せんとう つ きごう け  
箇条書きで先頭に付けた記号を消してみましょう。

### 1. 文字を選択しましょう



### 2. 先頭の記号を消しましょう

